

令和7年度（前期）自己評価【共通評価】

共通評価（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

	自己評価結果
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	
判断基準 a 法人（保育所）の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、保護者等への周知が図られている。	
b 法人（保育所）の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。	
c 法人（保育所）の理念、基本方針の明文化や職員への周知がされていない。	
<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
<input type="checkbox"/> 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載	
◆理念・基本方針等をパンフレットやホームページに掲載している。 ◆法人理念に関しては、神奈川県支部ホームページ上で公開。当園ホームページにおいてリンク先を掲載。 ◆懇談会や面談、全体会を通して、園長はじめ各部署の責任者が基本方針に基づいた保育・運営について説明している。 ◆新規入園の際には、資料をもとに重要事項の説明を行っている。 ◆リニューアルしたパンフレットに文書を掲載。 ◆全体職員会議、正規会議等において保育理念、方針、目標の解説及び周知を図っている。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己 評価結 果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		
判断基準 a	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	
b	事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されているが、分析が十分ではない。	
c	事業経営をとりまく環境と経営状況が把握されていない。	
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆子ども家庭庁をはじめ神奈川県福祉子どもみらい局、横浜市こども青少年局保育教育運営課、横浜市私立保育園こども園園長会、横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、横浜市金沢区私立保育園園長会、横浜市金沢区公私合同園長会、金沢区社会福祉協議会等からの情報を常に把握し保育運営に活用している。</p> <p>◆独立行政法人福祉医療機構ワムネットの情報を分析指標の参考にしている。</p> <p>◆保育業界全般の情報把握については、複数企業のサポートを受けている。</p> <p>◆当園独自の分析表により、保育コストや利用者推移等の分析を実施。</p>		

【3】	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	
判断基準 a	経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	
b	経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき、取組を進めているが十分ではない。	
c	経営環境と経営状況の把握・分析にもとづく取組が行われていない。	
	□経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	□経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	○
	□経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	□経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆園長は運営全般についての情報をできる限り迅速に運営チームに発信。尚その際には運営環境をはじめ当園の様々な課題や問題点についても共有することに努めている。</p> <p>◆法人の監事監査および監事会議が年1回行われ、施設の経営状況等が共有されている。</p> <p>◆次世代の人材育成を推進するために、OJTの充実強化を図っている。</p> <p>◆保育園の経営状況について 現場職員が少しずつ理解を深められるよう各種会議を通して情報共有を行っている。</p> <p>◆全体会議等を通して、予算・決算について報告。また資料の目通しを行っている。</p> <p>◆令和8年度は当園創立50周年を迎える。そこで当園の歴史と保育、また法人について広くアピールし、子どもたちのよりよい育ちに貢献するための準備を進めている。</p>		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果
【4】	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	
判断基準 a	経営や保育に関する、中・長期の事業計画及び中・長期の収支計画を策定している。	
b	経営や保育に関する、中・長期の事業計画または中・長期の収支計画のどちらかを策定して なく、十分ではない。	
c	経営や保育に関する、中・長期の事業計画も中・長期の収支計画のどちらも策定していない。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆法人及び施設としての中長期計画を策定している。※済生会(法人)として令和5年4月から令和10年3月までの第3期中期事業計画(5年間)が進行中。定期的に進捗状況の確認も行われる。尚、さらに詳細な内容については、施設としての中長期計画を策定。</p> <p>◆当園建物は築37年を経過。令和8年度には大規模修繕(建物外装・屋上防水・配管修繕等)を予定しており、現在準備中。</p>		

【5】	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	
判断基準 a	単年度の計画は、中・長期計画を反映して具体的に策定されている。	
b	単年度の計画は、中・長期計画を反映しているが、内容が十分ではない。	
c	単年度の計画は、中・長期計画を反映しておらず、内容も十分ではない。	
	□単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	○
	□単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	□単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	□単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆単年度の施設整備計画については、前年度中に支部を中継し本部にて法人全体の計画が取りまとめられている。</p> <p>◆年間行事については、全職員で振り返りを行い、次年度に向けて各々意見を出したものを整理する。さらに計画案として保護者にも事前に（計画書の）配布等を行い、要望・意向等を確認した上で、最終的に運営チームが決定する。</p> <p>◆正規会議において、次年度の状況（職員・子ども・施設）を踏まえ、無理のない有意義な行事のあり方を検討。</p>		

(2) 事業計画が適切に策定されている。

I-3-(2)-①		
【6】 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		
判断基準 a	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	
b	事業計画が職員等の参画のもとで策定されているが、実施状況の把握や評価・見直し、または、職員の理解が十分ではない。	
c	事業計画が、職員等の参画のもとで策定されていない。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）されており、理解を促すための取組を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆事業計画については、各セクション代表者で構成されている運営チームのメンバーによる検討を経て、決定されている。
- ◆年間行事については、全職員で振り返りを実施し意見を出す仕組みがある。最終的には、運営チームで決定。
- ◆事業・行事の立案や状況確認については、全職員がかかわることを大切にされたプロセスを踏んでいる。
- ◆事業計画の理解を少しずつ深められるよう、職員会議等の機会を利用。周知を図っている。

【7】	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	
判断基準 a	事業計画を保護者等に周知するとともに、内容の理解を促すための取組を行っている。	
b	事業計画を保護者等に周知しているが、内容の理解を促すための取組が十分ではない。	
c	事業計画を保護者等に周知していない。	
	□事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。	○
	□事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	○
	□事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	□事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆神奈川県済生会のホームページにより、支部全体の施設に関する計画が閲覧できる。</p> <p>◆当園ホームページに事業計画を公開している。</p> <p>◆次年度の事業計画（改修等）について、掲示。またわかき全体会において資料を配布及び説明。</p> <p>◆保護者説明会の参加率を上げるために、保育終了時刻から開催。終了が遅くならないよう40分間に絞り込む。尚、全体会（当年度振り返り及び次年度事業計画についての説明会）に参加できない家庭にも、内容の周知が図られるようわかりやすい資料の作成に努めている。</p>		

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己 評価 結果
【8】	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	
判断基準 a	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	
b	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われているが、十分に機能していない。	
c	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われていない。	
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育の内容について組織的に評価（C：Check）を行う体制が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆毎月のクラス会議及び給食会議において課題を明確にし、その解決に向けた対応策を検討。具体的な行動につなげ、PDCAサイクルを回すようにしている。</p> <p>◆部署ごとの課題のうち、組織的な取組が必要なことについては 正規会議において共有し、検討・実行へ進める。</p> <p>◆シェアリングシステムの活用や職員会議により、組織全体で情報共有と共通理解を図るように努めている。</p> <p>◆保育・運営の全体的な質の向上を図るために、各部署の責任者メンバーによる運営チームが中核となって機能する仕組みがある。</p> <p>◆令和7年度より食育計画に評価項目を設け、全体の達成度を把握。評価結果をもとに次年度の計画を検討。</p>		

【9】	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	
判断基準 a	評価結果を分析し、明確になった保育所として取り組むべき課題について、改善策や改善実施計画を立て実施している。	
b	評価結果を分析し、保育所として取り組むべき課題を明確にしているが、改善策や改善実施計画を立て実施するまでには至っていない。	
c	評価結果を分析し、保育所として取り組むべき課題を明確にしていない。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆保育運営に関する様々な事柄は運営会議を通して発信される。その内容について迅速な共有化を図るため、当園ではパソコン内に議事録を作成しており、全職員が必ず確認することをルール化。この仕組みは、職員周知がスムーズに図られることをはじめ、ボトムアップも期待できる。</p> <p>◆月末のクラス会議ではクラス全体及び個別の振り返り、評価を行い、次の計画、確認、行動へ繋げている。</p> <p>◆給食に係る様々な課題解決に向けた試みとして、給食支援サービスの利用を試行。メリット及びデメリットについて協議する。尚、次年度の導入については未定。</p>		

Ⅱ 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己 評価結 果
【10】	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	
判断基準 a	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。	
b	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、理解されるよう取り組んでいるが、十分ではない。	
c	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにしていない。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆園長責務については、文書を掲示し保護者なども閲覧できる。 ◆園長の責任と役割（職務分掌）について、運営規程等に文書化している。 ◆事業継続計画（BCP）において、不在時の権限委任を明確化している。 		

【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		
判断基準 a	施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的な取組を行っている。	
b	施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っているが、十分ではない。	
c	施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組は行っていない。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆法人の法令遵守規定をもとにコンプライアンス推進のお知らせを取引事業者に配布し、済生会の取り組みへの理解・協力を得られるよう努めている。</p> <p>◆園長は 法人主催のコンプライアンス研修や省エネ推進会議等に定期的に参加し、理解を深めるよう努めている。</p> <p>◆本部主催のコンプライアンス研修の内容を会議等で報告し、職員の意識改善に努めている。</p> <p>◆会議における説明や保育所運営に関する書物類の回覧等を通して、職員が少しずつ理解を深められるよう努めている。</p>		

【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		
判断基準 a	施設長は、保育の質の向上に意欲をもち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	
b	施設長は、保育の質の向上に意欲をもち、組織としての取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。	
c	施設長は、保育の質の向上に関する組織の取組について指導力を発揮していない。	
	□施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	□施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	□施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	□施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	□施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆保育・運営の中核となる運営チームメンバーには、週1回の運営会議に留まらず、広く深く様々な事柄にふれて話をする機会を持つようにしている。</p> <p>◆日々の保育の困りごとや相談事には、できるだけ丁寧に寄り添いながら個別に助言したり、一緒に考えていくようにしている。</p> <p>◆職員アンケートを実施。一人一人の要望・意見を把握するように努めている。</p> <p>◆園長面談にて相談ごとなどを伝えることができる。</p> <p>◆クラスの個人面談報告を受け、必要に応じてアドバイスをしている。</p> <p>◆職員とは日常的なコミュニケーションを図りながら意見を聞いたり、状況把握に努めている。</p> <p>◆オンライン研修により、すべての職員が学びの機会を得られるようにしている。</p>		

【13】	I-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	
判断基準 a	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に十分な指導力を発揮している。	
b	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮しているが、十分ではない。	
c	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高める取組について指導力を発揮していない。	
	□施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	□施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	□施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	□施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆財務等について、できるだけわかりやすく日常的に活用できる分析表を活用している。</p> <p>◆職員配置については、適切な役割分担をすることにより、組織の理念・基本方針の具現化に努めている。</p> <p>◆子どもの安全と健康を守り、保育の質を向上させるために、職員の健康維持と働きやすい環境作りに努めている。(環境整備・休暇取得、研修参加、よりよい人間関係の構築等)</p> <p>◆業務の実効性向上を図るために、運営チームを結成。園長・主任・副主任・栄養士がメンバーとしてチーム力を高めながら運営の中枢を担う。チーム運営の実現により、仲間を尊重し合い柔軟で機動力のある組織に成長していくことと、次世代の人材が育成されることも期待している。</p> <p>◆各種端末機器等の導入により、ICTを活用した日常業務の効率化や情報公開等を行い、その運用スキルを磨きながら業務の実行性を高める努力をしている。</p>		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己 評価 結果
【14】	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	
判断基準 a	保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しており、それにもとづいた取組が実施されている。	
b	保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立しているが、それにもとづいた取組が十分ではない。	
c	保育所が目標とする保育の質を確保するため、必要な福祉人材や人員体制に関する具体的な計画が確立していない。	
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆横浜市配置基準を満たすために必要な人員を常に確保・配置し、さらに余裕ある対応を実現するために短時間パート職員の活用などを積極的に進めている。</p> <p>◆キャリアアップ研修の受講をはじめ当園独自の研修計画に基づいた人材育成を継続している。</p> <p>◆新卒者確保のため、養成校と学生の現状理解に努めながら、連携していくことに努めている。</p>		

【15】	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	
判断基準 a	総合的な人事管理を実施している。	
b	総合的な人事管理に関する取組が十分ではない。	
c	総合的な人事管理を実施していない。	
□法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。		○
□人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。		
□一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。		○
□職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。		○
□把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。		○
□職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。		○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆済生会(法人)組織人として期待する職員像をはじめ、当園として定める経験年数に応じたステージごとの姿を明確にし、浸透化をさらにすすめていくことが課題である。</p> <p>◆キャリアパスおよびキャリア開発プログラムの活用と実行をさらに進めていく。</p> <p>◆会議や園長面談等を通して意見・意向を聞き、その結果の共有と改善に努めている。</p> <p>◆正規職員は、目標シートに必要事項を記載し提出。進捗状況及び結果を園長に報告。その後面談を実施。</p>		

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

【16】	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	
判断基準 a	職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善する仕組みが構築され、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。	
b	職員の就業状況や意向を定期的に把握する仕組みはあるが、改善する仕組みの構築が十分ではない。	
c	職員の就業状況や意向を把握する仕組みがない。	
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆法人規程においてセクシャルハラスメントならびにパワーハラスメント防止、またストレスチェック制度について各々定めがあり、この規程のもとに取り組みを実施している。
- ◆同法人の横浜若草病院とは、園児の内科検診において医師を派遣する契約関係にあり、必要に応じて職員の健康相談や受診も可能である。業務中の体調不良やけが、その他専門医による診察が必要な場合には迅速に対応することにより、職員の健康維持に努めている。
- ◆Googleフォームを活用し、職員がいつでも意見や要望等を伝えられる環境を整えている。尚、同システムによる職員アンケート調査も実施。
- ◆介護や子育てなど職員の家庭における役割と仕事の両立が実現できるよう配慮したり、体調不良時には無理をせず済むような職員配置を工夫している。
- ◆ハラスメントに関する新聞記事を職員共有するなど 当事者意識を高めて働きやすい職場づくりに努める。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

【17】	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	
判断基準 a	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が、適切に行われている。	
b	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われているが、十分ではない。	
c	職員一人ひとりの育成に向けた目標管理等が行われていない。	
	<input type="checkbox"/> 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆組織として期待する職員像をキャリア開発プログラムにおいて明確にしている。
- ◆目標管理シート、個人研修(OJT)計画・評価シートを活用し、職員一人ひとりが目標を持って仕事に向き合うようにしている。このことにより、自身が果たすべき役割が明確化され、先延ばししてきた業務の達成につながられている。

【18】	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	
判断基準 a	保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	
b	保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されているが、内容や教育・研修の実施が十分ではない。	
c	保育所として職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定されていない。	
	□保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	□現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	□策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	□定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	□定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆『わかき保育園研修要領』を研修の基本方針としている。</p> <p>◆全職員対象のオンライン研修を実施。職員が自身のペースで受講しやすい日時を選んで受講することができる。</p> <p>◆個人研修(OJT)計画・評価シートを用いて、研修目標を掲げ、実施後に評価を行っている。</p>		

【19】	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	
判断基準 a	職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保され、適切に教育・研修が実施されている。	
b	職員一人ひとりについて、教育・研修の機会が確保されているが、参加等が十分でない。	
c	職員一人ひとりについて、研修機会が確保されていない。	
	□個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	□新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	□階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	□外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	□職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆国が定める『保育士等キャリアアップ研修ガイドライン』に基づいて、条件を満たす対象職員のキャリアアップ研修の受講を進めている。</p> <p>◆オンライン研修を全職員対象で実施。職種を問わずに受講できることは、今までの学びをさらに深めたり知識の幅を広げたりできる。</p> <p>◆全職員がいつでも希望する研修に申し込むことができるよう、研修参加募集のプリントなどを閲覧できるように設置している。</p>		

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

【20】	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	
判断基準 a	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等、積極的な取組を実施している。	
b	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備してはいるが、効果的な育成プログラムが用意されていないなど、積極的な取組には至っていない。	
c	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備しておらず、教育・研修が行われていない。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆実習生受け入れについてのマニュアルがある。
- ◆指導者に対する研修については、今後 学びの復習が課題である。
- ◆オンライン研修には実習生指導の単元があり、現在全職員が受講中である。今後、指導力に厚みを増すことが期待できる。
- ◆養成校の要望等を聞き、できるかぎり寄り添えるよう職員の協力を得ている。
- ◆養成校職員との電話でのやりとりの他、園訪問時には養成校の現状等について情報共有を図っている。
- ◆現場の指導担当者は、計画・実践に対して丁寧に助言し、実習生の確かな学びに繋がるよう努めている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己 評価結 果
【21】	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	
判断基準 a	保育所の事業や財務等に関する情報について、適切に公開している。	
b	保育所の事業や財務等に関する情報を公表しているが、方法や内容が十分ではない。	
c	保育所の事業や財務等に関する情報を公表していない。	
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆事業計画、報告、財務に関わることは、済生会(本部・支部)のホームページに掲載。また、関係資料(紙媒体)を玄関に設置し、閲覧可能な状態にしている。</p> <p>◆第三者評価受診結果や苦情解決規程等については、ホームページに掲載し保護者が閲覧できるようにしている。</p>		

【22】	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	
判断基準 a	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	
b	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているが、十分ではない。	
c	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われていない。	
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 保育所の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の監査はじめ往査による会計全般の確認作業を行っている。 ◆済生会による内部監査を受け、事業および会計業務についての確認が行われている。 ◆横浜市による一般指導監査を年1回受けている。 		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己 評価結 果
【23】	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	
判断基準 a	子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを積極的に行っている。	
b	子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っているが、十分ではない。	
c	子どもと地域との交流を広げるための地域への働きかけを行っていない。	
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 玄関等の掲示板を利用し、地域の情報を公開している。 ◆ 地域に出向く散歩では、住民にすすんで挨拶したり 会話したりするなどささやかな交流をしている。 ◆ クリスマスの時季には、子どもたちがちびっこサンタに扮して散歩に出かけ、ささやかなプレゼント(チョコ)を地域住民にプレゼントした。子どもも大人も笑顔になる取組だった。 ◆ 野島公園の花植え活動に参加。その他年長交流では、聖星保育園や金沢愛児園と親睦を深めた。また、地域の小学校を訪問して学校探検を行う。 ◆ 済生会横浜医療福祉センター活動の一環として、地域清掃を実施。年長はじめ希望する子どもたちが地域の草とりなどに参加。 ◆ 地域の親子は、おひさまの庭(園庭解放)や園行事に参加することにより、在園児と交流することができる。 ◆ 地域住民のボランティアによる園芸活動を実施。園児と地域住民の交流が図られている。 		

【24】	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		
判断基準 a	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されており、受入れについての体制が整備されている。		
b	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されているが、受入れについての体制が十分に整備されていない。		
c	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢が明示されていない。		
	□ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。		○
	□地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。		○
	□ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。		○
	□ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。		○
	□学校教育への協力を行っている。		○
【判断した理由・特記事項等】			
<p>◆ボランティア受け入れマニュアルがある。尚、今後の受入れについては、保護者にも広く周知を図る予定。</p> <p>◆ボランティア希望者にはオリエンテーションを実施し、実りある体験になるよう交流ポイント等を事前に伝えている。</p> <p>◆金沢中学校の職業体験の受け入れを実施。※令和7年度 中学2年生 1名受け入れ</p> <p>◆ボランティア実施時には、事前に家庭周知を図る。</p>			

II-4-(2)-① 【25】 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		
判断基準 a	子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握し、その関係機関等との連携が適切に行われている。	
b	子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に把握しているが、その関係機関等との連携が十分ではない。	
c	子どもによりよい保育を提供するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示していない。	
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆関係機関連絡帳を作成し、リスト化されたものを保管しながら状況に応じて適切に使用している。 ◆横浜市こども青少年局保育教育運営課、横浜市私立保育園園長会、横浜市社会福祉協議会、金沢区保育園園長会、横浜市金沢区社会福祉協議会などと連携しながら情報共有を行う機会がある。 ◆金沢区福祉保健センターとは、日頃から入所関係をはじめ様々な相談、地域情報、研修講師の派遣などについて連絡を取り合っている。 		

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

【26】	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	
判断基準 a	地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を積極的に行っている。	
b	地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っているが、十分ではない。	
c	地域の具体的な福祉ニーズ・生活課題等を把握するための取組を行っていない。	
	<input type="checkbox"/> 保育所(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

◆ 済生会では、ソーシャルインクルージョン推進計画を策定し、誰も取り残さなまちづくりを全国で推進している。金沢区の済生会施設では、横浜若草病院を中心に済生会横浜金沢医療福祉センターという名称のもと連携を強化している。現在は、環境美化の一環として地域清掃に職員と子どもたちも参加。行事や日常の中で様々なふれあいの機会を大切にしながら地域住民の一人ひとりが安心して自分らしい暮らしを営めるよう施設のあり方を模索中。

◆ 保育園と地域住民とのつながりは、日頃の散歩時にかわす挨拶をはじめささやかな会話などを通して少しずつ育まれ、互いに親しみを持てる関係性になってきた。直接住民宅を訪問して、困りごとや要望などをさりげなくヒアリングをすることもある。今後も地域ニーズの把握と解決に向けた取り組みを継続していきたい。

【27】	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	
判断基準 a	把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を積極的に行っている。	
b	把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が十分ではない。	
c	把握した地域の具体的な福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動を行っていない。	
	□把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	□把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	□多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	□保育所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや、専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	□地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>◆防災備蓄品などについては、在籍者分以上の備蓄に努め、災害時には地域住民も避難できるような環境を整えている。</p> <p>◆済生会のホームページを通して、専門的な情報を提供している。</p> <p>◆地域の子育て家庭に非常食を寄附する。</p> <p>◆園行事『チャレンジぼうさい』への参加を地域にも呼びかけ、子育て家庭の親子が参加。横浜若草病院屋上への避難訓練や非常食試食などを体験する機会を提供。</p> <p>◆地域の親子が気軽に立ち寄り相談ができたりするよう、おひさまの庭(園庭解放)を実施。</p>		

◆園行事『チャレンジぼうさい』では、地域の子育て家庭に対して 横浜若草病院屋上への避難訓練

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結 果
【28】	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	
判断基準 a	子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示され、組織内で共通の理解をもつための取組が行われている。	
b	子どもを尊重した保育についての基本姿勢は明示されているが、組織内で共通の理解をもつための取組は行っていない。	
c	子どもを尊重した保育についての基本姿勢が明示されていない。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、個々の保育の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆すべての職員が全国保育士会倫理綱領に基づき、子ども一人ひとりの人格を尊重した保育やかかわりを実践すべく努力をしている。</p> <p>◆一人ひとりの子どもの生活習慣や思いなどに寄り添いながら、子ども同士が互いを尊重し合えるようなかかわりが持てるように保育している。</p> <p>◆全職員を対象としたチェックリスト記載方式の振り返りを実施。※『人権擁護のためのセルフチェックリスト』を用いて職員一人一人が自らの振り返りを行っている。このことにより自身の発する言葉やふるまいを意識することができる。</p> <p>◆保育士は子どもの様子を見ながら子ども自らがどうしたいか尋ね、自分の気持ちを言葉で伝えられるようにしたり言葉にはならない心の声を察したりすることを大切にしている。</p> <p>◆子どもの人格の尊重について 共通理解を図るために、会議や研修等を通して学びを深めている。</p>		

【29】	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	
判断基準 a	子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、子どものプライバシーに配慮した保育が行われている。	
b	子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備しているが、子どものプライバシーに配慮した保育が十分ではない。	
c	子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備していない。	
	□子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	□規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施されている。	○
	□一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	□子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆子どもや保護者が他人に見られたり知られたりしたくないことについてその意思が尊重されるよう徹底した対応を行っている。(会話や着替えの場面において注意深く対応するなど)</p> <p>◆情報の共有については、慎重に実行している。</p> <p>◆幼児の着替え時にはカーテンを使用して、人目を遮るようにしている。</p> <p>◆シャワー浴の際には、順番やメンバーの組み合わせについて配慮している。(男女別など) また、4・5歳児については2階浴室を使用。低年齢の子どもたちは外シャワーを使用するが、その際には外部の目に触れないよう布で仕切るようにしている。</p> <p>◆下着の履き替え等については、できるだけ人目につかない場所で行うようにしている。</p> <p>◆保護者との面談は、落ち着いた場所(個室)で行っている。</p> <p>◆服務心得の自己評価(月末)を通して全職員がプライバシー保護について理解を深める取組みをしている。</p>		

【30】	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	
判断基準 a	利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を積極的に提供している。	
b	利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供しているが、十分ではない。	
c	利用希望者が保育所を選択するために必要な情報を提供していない。	
□理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。		○
□保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。		○
□保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。		○
□見学等の希望に対応している。		○
□利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。		○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆地域の子育て支援拠点に 当園主催のイベントポスターを掲示。子育て中の母親向けに PRしている。</p> <p>◆地域住民のための法人掲示板(2か所)には、保育園情報を掲示している。</p> <p>◆当園の子育て支援におけるおひさまの庭(園庭解放)では、給食試食(2組参加)や絵具あそびの体験機会を提供。保護者からの質問相談に担当保育士が応じる。</p> <p>◆金沢区が主催する地域のイベント開催時には、園のパンフレットを提供し 多くの子育て関係者が目にふれられるようにしている。</p> <p>◆区内の保育関連冊子や子育て家庭に有用な情報については、保護者が日々利用する玄関に 情報紙を設置。様々なポスター掲示も実施している。</p> <p>◆ホームページにおいて園の情報公開。※都合により未更新の場合もある。</p> <p>◆園見学希望者には丁寧に対応することを心がけ、質問にはできるだけ具体的に回答している。</p>		

【31】	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	
判断基準 a	保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等にわかりやすく説明を行っている。	
b	保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っているが、十分ではない。	
c	保育の開始・変更時の同意を得るにあたり、組織が定める様式にもとづき保護者等に説明を行っていない。	
	□保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。	○
	□保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	○
	□説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	○
	□保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	□特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆保育の開始時には、重要事項説明書を配布・説明し、同意書の提出を受けている。</p> <p>◆入園時、年度初めと後半には各クラスにおいて懇談会を実施。進級クラスの保育内容や変更点などについて、事前の説明をしたり質問に回答したりする。</p> <p>◆個人面談では、必要に応じて個別の支援や変更について保護者と確認を行う。</p> <p>◆延長サービスの開始・変更にあたっては、費用等について事前の説明を行っている。</p> <p>◆保育等の説明の際には 保護者の理解につながるよう丁寧な説明に努めている。また、事前に保育体験を実施し、より理解が進むための取組を行っている。</p> <p>◆変更点等については一斉メールや掲示にて事前に知らせる。</p>		

【32】	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	
判断基準 a	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮している。	
b	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮しているが、十分ではない。	
c	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮していない。	
	<input type="checkbox"/> 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆変更(転園)にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引き継ぎ文書を定めた。</p> <p>◆退園(転園)をした後も園メールにて行事開催についての情報提供を継続し、つながりを保つことで保護者が足を運びやすいようにしている。また卒園・退園(転園)児によるボランティア(キッズリターン)の機会を提供し、子ども自身が保育を手伝ったり旧友と遊んだりすることで園とつながり、困った時などには頼れる場所のひとつとして選べるようにしている。</p> <p>◆主任が相談窓口となり、対応している。</p>		

(3) 利用者満足の向上に努めている。

【33】	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	
判断基準 a	利用者満足を把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を踏まえて、その向上に向けた取組を行っている。	
b	利用者満足を把握する仕組みを整備し、利用者満足の結果を把握しているが、その向上に向けた取組が十分ではない。	
c	利用者満足を把握するための仕組みが整備されていない。	
	<input type="checkbox"/> 日々の保育のなかで、子どもの満足度を把握するように努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足度を把握する目的で定期的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員等が、利用者満足度を把握する目的で、保護者会等に出席している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆子どもたちが笑顔で園生活を送れているか、家庭で保育園の様子を楽し気に話しているかなど、日頃の子どもの言動が、満足度を押し量るバロメーターとして役立っている。
- ◆連絡帳アプリ入力を通して保護者の様子を把握し、必要に応じて面談の提案をするなど適切な対応を心がけている。
- ◆クラス懇談会、個人面談、保護者アンケート(四半期ごと)において保護者のニーズを把握している。
- ◆年度当初、園長は保護者会役員との話し合いを実施。対面によるコミュニケーション機会を確保することに努めている。
- ◆子どもの思いや考えに寄り添い、その意思を尊重するようなかかわりを大切にしている。
- ◆第三者委員と定期的にコミュニケーションをとることを通して園理解の深まりにつながっている。
- ◆保護者に保育参加を勧めることにより、相互理解に繋がるよう努めている。
- ◆保育参加を通して、保護者は日常の子どもの様子、職員とのかかわりなどを知ることができる。

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	
判断基準 a	苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているとともに、苦情解決の仕組みが機能している。	
b	苦情解決の仕組みが確立され保護者等に周知する取組が行われているが、十分に機能していない。	
c	苦情解決の仕組みが確立していない。	
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆ 苦情解決のシステムの仕組みを 玄関に掲示して保護者に知らせている。
- ◆ 定期のたよりや懇談会において、苦情内容とその対応策等を公開している。
- ◆ オンライン上をはじめ連絡帳アプリ入力、口頭での申し出れ、福祉センターへの問い合わせ等、保護者の声を受けとめる方法が複数用意されている。(匿名による申し出も受け付け可能)
- ◆ 保護者の苦情・要望等については できる限り真摯に向き合い、解決に努めている。
- ◆ 保護者会が用意したアンケート箱に要望などの記載書を投函することができる。
- ◆ 苦情等に対しては、早急に運営会議を開き職員共有を実施。対応策を検討をし、よりよい改善に繋げている。
- ◆ 必要に応じて保護者の意向を確認し、運営等の方針を決定することもある。

【35】	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	
判断基準 a	保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備され、そのことを保護者に伝えるための取組が行われている。	
b	保護者が相談したり意見を述べたい時に方法や相手を選択できる環境が整備されているが、そのことを保護者に伝えるための取組が十分ではない。	
c	保護者が相談したり意見を述べたい時に、方法や相手を選択できない。	
	□保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	□保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	□相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆クラス責任者が日常的な相談窓口となり、必要に応じて主任や園長が対応。問題解決に向けて家庭と園が共に進んでいこうとする姿勢と感謝を伝えている。</p> <p>◆2階個室などを利用し、静かな場所で落ち着いて話ができるよう配慮している。</p> <p>◆送迎時には、挨拶や短時間の会話を大切にしながら保護者との信頼関係を築いている。</p> <p>◆保護者の相談事や要望を伝える手段及び対応職員については 選択できることを 重要事項の説明時や個人面談などで伝えている。(口頭及び文書による) 尚、対応時には必ず記録に残している。</p> <p>◆面談の際には、担任だけでなく主任などが同席するなど、複数職員による対応が望ましい場合には保護者の同意を得て実施している。</p> <p>◆連絡帳アプリにて相談があった場合には 園長に報告し、対応の指示を受けた上で さらに職員共有も図っている。</p>		

【36】	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	
判断基準 a	保護者からの相談や意見を積極的に把握し、組織的かつ迅速に対応している。	
b	保護者からの相談や意見を把握しているが、対応が十分ではない。	
c	保護者からの相談や意見の把握をしていない。	
□職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。		○
□意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。		○
□相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。		○
□職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。		○
□意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。		○
□対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。		○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆苦情解決の仕組みを構築し、保護者の意見・要望などには丁寧に対応するよう努めている。</p> <p>◆送迎時における口頭での申し入れや連絡帳による記述の内容によっては、迅速な対応が必要な場合があり、できるだけ時間をおかない配慮をしている。(迎えまで待たず、電話を入れて確認したり面談の提案をしたりする)</p> <p>◆連絡帳アプリの内容によっては 報告・共有が必要なケースもあり、日頃から注意深くコメントを取り扱うようにしている。</p> <p>◆Googleフォームを活用し、保護者アンケートを4回/年実施。集計後『ほいくえんだより』にて結果報告と内容説明を実施。尚、保護者公開にあたり、回答内容について職員共有及び対応の検討を実施。</p>		

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	
判断基準 a	リスクマネジメント体制を構築し、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集や要因分析と対応策の検討・実施が適切に行われている。	
b	リスクマネジメント体制を構築しているが、子どもの安心と安全を脅かす事例の収集や要因分析と対応策の検討・実施が十分ではない。	
c	リスクマネジメント体制が構築されておらず、子どもの安心と安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
	□リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	□事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	□子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	□収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	□職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	□事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆事故防止規定について職員周知を図っている。
- ◆業務中のヒヤリハット事案については、発生直後に行う責任者への報告を確実に実施。さらに概要を議事録/パソコンに入力し、全職員が共有できるよう仕組化している。
- ◆事故、怪我については、直ちに園長・主任に報告することを徹底している。また状況確認等の検証を迅速に行い、改善策を検討している。(事故の発生直後には、複数の関係職員や子どもへの聞き取りを行い、様々な視点で細かく検証し報告書を作成。全職員で共有し、再発防止策を講じる。)
- ◆リスクマネジメント責任者を主任として、運営チームで共有。全職員に周知。(口頭、議事録等)
- ◆安全点検(遊具、備品など)の実施(年2回)
- ◆各種訓練を定期的実施。(自然災害・火災・不審者対応・緊急時対応等)
- ◆不審者の侵入対応においては、一刻も早く通報できるよう非常通報装置を設置。神奈川県警にも協力を得ている。また神奈川県日本防災通信協会による定期訪問あり。防災アドバイスを受け、運営にいかしている。
- ◆通用門にナンバー錠を設置し、関係者以外の自由な入門を制限。(直近のナンバー変更:令和7年11月4日)

Ⅲ-1-(5)-② 【38】 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		
判断基準 a	感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備し、取組を行っている。	
b	感染症の予防策が講じられ、発生時等の緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備しているが、取組が十分ではない。	
c	感染症の予防策が講じられていない。	
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者への情報提供が適切になされている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども家庭庁の『保育所における感染症対策ガイドライン』に準じて感染症対策を実施。 ◆手洗い・うがい及び消毒を励行。花王『手洗い講座』を受講。子どもたちは楽しく手洗いを学ぶことができた。 ◆玩具については、水洗いや消毒を実施している。 ◆感染症の園内発症及び市内の流行状況等 必要な情報を家庭と共有するために、資料を玄関に掲示。保護者に迅速に知らせて感染拡大を防いでいる。尚、この際には子どものプライバシーに配慮。 ◆嘔吐物処理方法については、感染症が流行する前にクラス会議などで確認している。 ◆家族が感染症に罹患している場合には、園内に入らずインターフォンによる呼び出しを実施。門周辺で子どもの受け渡しを行う。 ◆午睡時には、布団の間隔を空けたり、頭を互い違いにして飛沫感染を防止するよう努めている。 ◆感染症流行時には保健所と連携しながら感染拡大の防止に努めている。 		

【39】	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	
判断基準 a	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	
b	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っているが、十分ではない。	
c	地震、津波、豪雨、大雪等の災害に対して、子どもの安全確保のための取組を行っていない。	
	□災害時の対応体制が決められている。	○
	□立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。	○
	□子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	□食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○
	□防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆発災後のBCP(事業継続計画)を作成、運用中。 ◆毎月、防災訓練を実施。尚、引取訓練を2回/年実施。 ◆必要物品を備蓄し、定期的に確認。防災食に関しては、ローリングストックを行い、給食素材として利用。 ◆子どもが自分でできることを増やし、防災意識を高められるような関わりと教育を実施。 ◆地域の散歩を通して日頃から顔の見える関係づくりを意識している。(消防署・小学校、近隣住民等) ◆緊急地震速報受信機を設置中。大地震が起きる前に安全行動ができるよう訓練している。 ◆安否確認については、災害伝言ダイヤル171を試行している。 ◆令和7年度親子行事『チャレンジぼうさい』を開催。横浜若草病院屋上の避難体験をはじめ非常食試食、非常用グッズ展示(トイレ・防災用品)を通して親子で防災意識を高める機会を作る。 ◆法人において エマージェンシーコール(安否確認システム)導入。職員安否確認の訓練を実施中。 		

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己 評価結 果
【40】	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	
判断基準 a	保育について、標準的な実施方法が文書化され、それにもとづいた保育が実施されている。	
b	保育について、標準的な実施方法が文書化されているが、それにもとづいた保育の実施が十分ではない。	
c	保育について、標準的な実施方法が文書化されていない。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆子ども一人ひとりの発達や状況等を踏まえた標準的な保育の実施方法を定めている。</p> <p>◆様々な経験値の保育士が標準化された手順を踏めるよう文書化されている。</p> <p>◆日常の保育は、この手順書に記載された文書に基づいて実施されている。</p> <p>◆標準的な実施方法については、保育運営マニュアルとしてファイリングされ、変更等により加筆された場合には職員が確認する。</p>		

【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		
判断基準 a	標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるように仕組みを定め、仕組みのもとに検証・見直しを行っている。	
b	標準的な実施方法について定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できるように仕組みを定めているが、検証・見直しが十分ではない。	
c	標準的な実施方法について、組織的な検証・見直しの仕組みを定めず、定期的な検証をしていない。	
	<input type="checkbox"/> 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆標準的な保育実施方法の見直しについては、職員や保護者からの意見・提案にもとづき、子どもにとってより望ましい育ちにつながるかを判断基準にして行う。またその際には、職員の過大な業務負担にならないことにも配慮する。</p> <p>◆見直しについては、関係職員の意見を集め、最終的に運営会議やクラス会議等で決定。その後は全職員の周知を図り、確実に実施していく。</p> <p>◆PDCAサイクルの実施。</p>		

考慮

【42】	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	
判断基準 a	アセスメントにもとづく指導計画を策定するための体制が確立しており、取組を行っている。	
b	アセスメントにもとづく指導計画を策定するための体制が確立しているが、取組が十分ではない。	
c	アセスメントにもとづく指導計画を策定するための体制が確立していない。	
	<input type="checkbox"/> 指導計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が個別の指導計画等に明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆ 指導計画の策定における責任者を主任保育士とし、各年齢ごとに策定される指導計画を総括する。尚、責任者は計画の実施から評価見直しについて必要な助言も行う。
- ◆ 子どもの身体状況や子どもと保護者の生活状況等を把握するために、入園前には所定様式への記載と個人面談を実施。その際には保育ニーズについても確認を行う。
- ◆ 0・1・2歳児の個別計画については 保護者に開示し、保護者の意見なども聞き取りをしている。
- ◆ 発達評価ツールを活用した評価を実施。

【43】	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	
判断基準 a	指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施している。	
b	指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施しているが、十分ではない。	
c	指導計画について、実施状況の評価と計画の見直しに関する手順を組織として定めて実施していない。	
	□指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	□見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	□指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	□指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○
	□評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆指導計画の見直しについては月の振り返り等で実施し、それをもとに次月の保育計画を立案する。 ◆職員周知については独自のシェアリングシステムが構築されており、日々の目通しや確認の仕組みがある。 ◆保護者の意向を適宜反映して見直しを図っている。 ◆様々な変更などについては、運営会議はじめ担当者間で共有し、日々の実践につなげている。 ◆要支援児の指導計画及び評価については保護者との共有を毎月実施し、次月の保育計画につなげる。 ◆保護者記載欄を設け、次月の計画に反映させている。 		

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	
判断基準 a	子ども一人ひとりの保育の実施状況が適切に記録され、職員間で共有化されている。	
b	子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されているが、職員間での共有化が十分ではない。	
c	子ども一人ひとりの保育の実施状況が記録されていない。	
	□子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	□個別の指導計画にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	□記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	□保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	□情報共有を目的とした会議の定期的な開催の取組がなされている。	○

【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆個人情報については、児童票ファイルに収納。鍵付きの書棚に保管されている。尚、原則持ち出し禁止。
- ◆個人情報の取扱いについては 規程に基づいて慎重に行っている。
- ◆個人の保育実施状況については 園長・主任が最終確認を行い、必要な助言を行う。
- ◆保育記録に係る指導については、園長及び主任が適宜実施。

【45】	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	
判断基準 a	子どもに関する記録の管理について規程が定められ、適切に管理が行われている。	
b	子どもに関する記録の管理について規程が定められ管理が行われているが、十分ではない。	
c	子どもに関する記録の管理について規程が定められていない。	
□個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。		○
□個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。		○
□記録管理の責任者が設置されている。		○
□記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。		○
□職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。		○
□個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。		○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆個人の記録管理に関する規程が法人において定められている。(文書管理規程)</p> <p>◆個人情報の取扱い等関する規程が法人において定められている。</p> <p>◆全職員がオンライン研修において個人情報の取扱い等について学びを深め、意識向上に努めている。</p> <p>◆個別記録を保管する際には、書棚を施錠する。また、やむを得ず設置場所から書類を持ち出す際には、園長の許可を得て最低限の移動にとどめる。(紛失防止)</p> <p>◆個人情報の各種書類については、専用メッシュケースに収納。尚、書類によりクリアケースを使用する場合には、文書が見えないよう白紙を重ねるなどの配慮をする。</p> <p>◆保護者との書面のやり取りをする際には、個別の封筒及びポーチを使用して、人目につかないよう配慮している。</p> <p>◆鍵付き書棚に関係書類を管理保管。(事務室外への持ち出し禁止)</p>		

自己評価結果表【内容評価】（保育所版）

内容評価（20項目）

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己 評価結 果
	A-1-(1)-① 【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	
判断基準 a	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成している。	
b	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成しているが、十分ではない。	
c	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ作成していない。	
	<input type="checkbox"/> 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。	○
	<input type="checkbox"/> 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。	○
	<input type="checkbox"/> 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。	○
	<input type="checkbox"/> 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。	○
	<input type="checkbox"/> 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
◆全体的な計画では、保育園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえている。 ◆全体的な計画の策定においては、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じ、保育に関わる職員とその他の職員が参画している。 ◆当園の特性をいかした『全体的な計画』になるよう、全職員で創意工夫を試みている。尚、年度末には責任者が見直しを行い、意見等を主任に申し出る。 ◆作成された計画については 担当職員が必ず目通し、確認を行っている。		

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果
【A2】 A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。		
判断基準 a	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	
b	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備しているが、十分ではない。	
c	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備していない。	
	<input type="checkbox"/> 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆エアコンや扇風機、加湿空気清浄機等を導入し、換気・温度・湿度等に配慮しながら子どもたちの健康維持と情緒の安定が図られるよう 保育環境を整えている。 ◆3歳以上児については、食事と午睡の空間を明確に分けている。 ◆月齢差やあそびの内容を考慮し、ほふくスペースとその他の空間をいかした保育を心がけている。 ◆子どもが安心してくつろげる環境整備を行っている ◆幼児室においてはレースカーテンを使用して着替えのプライベート空間を確保したり、身体を休めたい子どもが落ち着て横になれるようにしたりしている。 ◆感染予防対策として、自動の手洗いソープを設置。 ◆0・1・2歳児クラスにおいては 子どもが手にふれたり口に含んだりする玩具の消毒を 定期的に行っている。 ◆おもちゃ棚には柔らかい天然の木材を使用したものを選んでいる。 ◆あそびっこルーム(フリースペース)を活用して子どもの気分転換を図っている。 		

【A3】 A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。		
判断基準 a	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	
b	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っているが、十分ではない。	
c	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っていない。	
	□子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	<input type="radio"/>
	□子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。	<input type="radio"/>
	□自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。	<input type="radio"/>
	□子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。	<input type="radio"/>
	□子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。	<input type="radio"/>
	□せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆一人ひとりの子どもの理解に努め、子どもたちを否定せずありのまま受けとめる援助を心がけている。 ◆全職員が子ども一人ひとりの状況を把握することができるようすべての子どもの共通理解に努めている。 ◆子どもの内面に寄り添い、子どもが自分らしさをのびのびと発揮できるように、必要な配慮と関わりを心がけている。 ◆一人一人の発達に応じた関わりを心がけ、個別の対応を丁寧に行うことに努めている。 		

【A4】	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	
判断基準 a	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	
b	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っているが、十分ではない。	
c	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っていない。	
	□一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。	○
	□基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。	○
	□基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。	○
	□一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。	○
	□基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆個人差を考慮し、一人ひとりの子どもにとって適切な時期に必要な援助が行われるように努めている。 ◆子どもが生活習慣を身に付ける過程において、子どもが自分でやろうとする気持ちをいつも尊重し温かく見守るようにしている。 ◆チーム間のコミュニケーションを活発にし情報共有できるようにしている。 ◆姿勢を正すことが身につくよう、イラストを活用（ひまわり組） ◆一人ひとりの子どもの状態をよく観察し、必要かつ丁寧な関わりを大切にしている。 ◆「よいこのおやくそく」を日々の目標にして、子どもが主体的に望ましい行動を選択できるよう工夫している。 ◆個人の持ち物を置く場所がわかるように名前シールを活用。 ◆子どもの意欲を尊重し、見守る保育を心がけている。 		

【A5】	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	
判断基準 a	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	
b	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開しているが、十分ではない。	
c	子どもが主体的に活動できる環境の整備や、子どもの生活と遊びを豊かにする保育が展開されていない。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 <input type="checkbox"/> 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 <input type="checkbox"/> 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 <input type="checkbox"/> 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 <input type="checkbox"/> 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 <input type="checkbox"/> 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input type="checkbox"/> 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 <input type="checkbox"/> 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆今年度、築山を設置。子どもたちの遊びに変化が見られ、0・1歳児も上り下りを楽しみながら身体を動かしている。全クラスにおいて新たな遊びが生まれている。（遊び方や発想が変化）</p> <p>◆近くに海や緑あふれる公園があり、自然に恵まれた環境は、子どもの育ちに大変よい影響を与えている。</p> <p>◆広い園庭で思いきり体を動かして遊ぶことができる。大型遊具 ※ミニプレイⅡは子どもたちに人気の遊具</p> <p>◆地域とのつながりにより 貴重な社会体験を積むことができる。</p> <p>◆年長組では友だちと協力する体験の機会を持つようにしている。（おまつりごっこ等）</p> <p>◆発達段階に応じた季節感のあるあそびを取り入れて。その際には 子どもが興味を持てるように導入の工夫する。</p> <p>◆自分で考えて行動に移せるよう、見守ることがある。</p> <p>◆子どもが自分で決めて選択する機会を保障する。</p> <p>◆天候により室内遊びをする時には、ソフトサークルや、ジャンピングマット、その他のあそび用具を組み合わせ、楽しく体を動かせるように工夫している。</p>		

A-1-(2)-⑤		
【A6】	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
判断基準 a	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
b	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
c	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	
	<input type="checkbox"/> 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。	○
	<input type="checkbox"/> 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。	○
	<input type="checkbox"/> 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。	○
	<input type="checkbox"/> 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆保育所保育指針「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」の3つの視点をもとに計画的に保育している。</p> <p>◆乳児の健康と安全を確保し、応答的に関わる特定の保育士との関わりにより愛着関係を築いている。</p> <p>◆探索活動や様々な遊びを通して 主体性の基盤が養われている</p> <p>◆少人数で過ごしたり、異年齢のかかわりで刺激を受けたりする機会を多く持っている。</p> <p>◆保育室を使い分けながら 自由に動き、のびのび遊べる空間を保障している。</p> <p>◆外遊び時間が減る夏の暑い時期には、全身を使って楽しめる室内環境の工夫を行った。</p> <p>◆成長発達の段階に応じた玩具を選び、乳児が自由に触れることができるようにしている。</p> <p>◆ふれあいあそびを日常的に行う。</p> <p>◆月齢に応じた職員配置を行い、生活リズムが整えられるようにしている。</p>		

A-1-(2)-⑥		
【A7】	1歳以上3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
判断基準 a	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
b	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
c	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆保育所保育指針「健康・人間関係・環境・言葉・表現」の5領域の視点をもとに保育を計画している。 ◆一人ひとりの子どもの発達段階に合った生活習慣が身に付くよう丁寧に援助している。 ◆子どもが自分でしようとする気持ちを尊重し、手を貸す時には子どもに声をかけてからサポートする。 ◆環境や人・ものへの探索行動を存分にできるように、安全に配慮しながら環境を整えたり保育士等が関わったりしている。 ◆日常的に自然な形で異年齢が触れ合うことができるよう保育を工夫している。 ◆トラブルにおいては、保育士が一人ひとりの気持ちを汲み取り、言葉にして思いを伝える手助けをしている。 		

【A8】	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
判断基準 a	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
b	適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
c	適切な環境、保育の内容や方法に配慮されていない。	
	□3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	○
	□4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	○
	□5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	○
	□子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆年齢ごとの発達的特徴を踏まえ、一人ひとりの子どもの育ちに合わせて生活習慣が身に付くよう支援している。 ◆友だちや他の人々との関わりが深まり、ものごとへの関心が高まるよう保育内容を工夫している。 ◆保育所保育指針の内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)が生活と遊びの中で豊かに育つよう、計画を立て実践している。 ◆集団の中で安定して過ごすことができるようになること、自己を十分に発揮し、友だちと協力して一つのことをやり遂げ、協同的な活動ができるよう、保育環境を整え援助している。 ◆5歳児については、クラスの目標達成に向けて子ども同志で話し合いの機会を持っている。この時、自分の考えや思いを言葉で伝えると同時に友だちの考えや思いに耳を傾け、互いに尊重し合えるよう保育士が働きかけたり見守ったりする。また、当番活動を通して役割をもって皆のためになることを行えるようにしている。 ◆クラスだよりを作成し、掲示及びホームページで公開している。 ◆散歩時には手をつなぐ相手を変えず、互いに安心と信頼を深められる関係性を築いている。 		

A-1-(2)-⑧		
【A9】	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
判断基準 a	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
b	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
c	障害のある子どもが安心して生活できる環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。	
	<input type="checkbox"/> 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆一人ひとりの子どもの発達過程を把握し、集団の中で子どもたちが共に育つことを可能にする計画を立案。また保育環境を工夫し、すべての子どもたちが落ち着いて過ごせるよう 必要に応じて個別対応を行う。</p> <p>◆園全体で一人ひとりの子どもを見守るための情報共有に努めている。</p> <p>◆担当者を配置し、丁寧なかかわりに努めながらチームによる協力体制を整えている。</p> <p>◆保護者の思いや意向に寄り添い、不安などを取り除く対応を心がけている。(個人面談を随時実施するなど)</p> <p>◆多くの職員が必要な知識や情報を得るために、受講しやすいウェブ研修を取り入れている。</p> <p>◆個別の指導計画を作成。子どもの発達状況や課題等を保護者と共有し、共通認識を持つよう努めている。</p> <p>◆専門機関に巡回訪問を依頼し、ソーシャルワーカーの助言を参考にして、子どもの生活や遊びを支援している。</p> <p>◆すべての子どもたちが安全にのびのびと過ごせるよう 環境改善に継続して取り組んでいる。</p> <p>◆自分の居場所がわかりやすいよう、名前シールを活用している。また遊び空間をコーナー分けして好きな遊びに集中できるようにしている。ときには 集団から離れて気持ちを落ち着かせられるようあそびっこルームを使用している。</p>		

【A10】	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
判断基準 a	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
b	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているが、十分ではない。	
c	長時間にわたる保育のための保育環境の整備、保育の内容や方法に配慮していない。	
	□1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。	○
	□家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。	○
	□子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。	○
	□年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。	○
	□保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。	○
	□子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。	○
	□担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆子ども一人ひとりが1日を通して情緒が安定するよう、保育環境の柔軟な作り変えに努めている。</p> <p>◆全身を使ってエネルギーを発散できる時間と、静かに集中して手先の遊びができる時間のバランスに配慮している。</p> <p>◆子どもの様子を観察し、その状態に応じた保育内容や室内環境の設定を工夫している。</p> <p>◆延長サービスの時間帯には心身の疲れに配慮し、特定の担当者が静かに絵本を読むなど個別にゆったりと関わるよう心がけている。</p> <p>◆延長保育が急ぎよ必要になった子どもには、おやつを提供し、安心して保護者の迎えを待てるようあたたかく見守っている。</p>		

【A11】	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	
判断基準 a	小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	
b	小学校との連携、就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮しているが、十分ではない。	
c	小学校との連携や就学を見通した計画、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮していない。	
	□計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。	○
	□子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。	○
	□保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。	○
	□保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。	○
	□施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆就学を見通した指導計画(年間、月次)を作成し、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を目安にしながら保育を実施している。</p> <p>◆子どもたちが小学校に入学するにあたり、子どもの育ちの状況とともに、その子らしさが伝わるよう保育所児童保育要録に内容を整理している。</p> <p>◆懇談会やクラス便りを活用し、就学に関する保護者の不安等が緩和できるよう配慮している。</p> <p>◆年長担任は金沢区幼保小中交流事業の研究会や研修に参加し、情報の共有や学びの習得に努めている。</p> <p>◆幼保小交流の一環で、年長組が小学校を訪問し小学生と交流する機会を持っている。</p> <p>◆就学時健診を前に園と学校の担任が情報共有している。</p>		

A-1-(3) 健康管理		自己 評価結 果
【A12】	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	
判断基準 a	子どもの健康管理を適切に行っている。	
b	子どもの健康管理を適切に行っているが、十分ではない。	
c	子どもの健康管理を適切に行っていない。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの保健に関する計画を作成している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆『保育所における感染症対策ガイドライン2018年改訂版』（こども家庭庁）に基づいて健康対策を実施。</p> <p>◆朝の受け入れ時をはじめ常に子どもの健康状態について把握（検温・視診・触診・便の状態・発疹の有無・食事・睡眠・機嫌など）することに努め記録。いつもとは違う様子が見られた場合には保護者へ連絡を入れている。必要に応じて早めの迎えを依頼することもある。</p> <p>◆全園児について、日々の定時検温を実施。</p> <p>◆保健計画を作成。目標達成のための取組を行う。</p> <p>◆家庭には、保健所の乳幼児健康診査における結果について園に報告（母子手帳のコピーを提出）する協力を依頼し、健康管理資料として役立っている。</p> <p>◆身体測定による個別の数値をカウプ指数で表し、太りすぎややせすぎを数字で確認している。尚、必要に応じて個別の栄養指導などを実施。</p> <p>◆横浜市から通知される乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する注意喚起ポスター等により職員周知を図る。</p>		

【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		
判断基準 a	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	
b	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映しているが、十分ではない。	
c	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映していない。	
	<input type="checkbox"/> 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆内科検診及び歯科健診の結果を個別一覧表に記載し、健康状態の推移が一目でわかるようにしている。</p> <p>◆上記のほか、保護者には個別に結果(助言)を伝えている。また、全体の共通課題(助言)についてはホームページなどで全世帯に発信。</p> <p>◆健診(検診)により一人ひとりの子どもの発育・発達状態や健康状態を知り、日々の健康管理に役立っている。(むし歯のある子への丁寧な歯磨き指導など)</p> <p>◆子どもたちが自身のからだや健康について関心を持つよう、紙芝居や絵本などを活用している。</p> <p>◆健診後、必要に応じて受診をすすめている。</p> <p>◆毎食後の歯磨き励行。</p>		

改訂版

	A-1-(3)-③ 【A14】アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	
判断基準 a	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	
b	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っているが、十分ではない。	
c	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、適切な対応を行っていない。	
	<input type="checkbox"/> アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載

- ◆入園面接等でアレルギーについて配慮が必要な子どもを把握した際には、園より保護者へ生活管理指導表を配布。※医師が記載する生活管理指導表と保護者申し入れ書により、園の対応を進める。その際には家庭との連携に努めている。
- ◆アレルギー児には「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」（こども家庭庁）「保育所における食物アレルギー対応マニュアル」（横浜市）「わかくさ保育園アレルギー対応マニュアル」に基づいた適切な対応に努めている。（アレルギー児用献立の作成と家庭配布、対応手順書の室内掲示など）
- ◆横浜市から提供される誤食のヒヤリハット事例を必ず目通しして、自園の事故防止に努めている。
- ◆熱性痙攣を起こしやすい子どもの異変（発熱等）には細心の注意を払っている。
- ◆栄養士・調理師は食物アレルギー研修を受講。アレルギー対応に必要な知識の習得に努める。尚、受講後に提出される報告書により全職員で情報共有を行う。

A-1-(4) 食事		自己 評価結 果
【A15】	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	
判断基準 a	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	
b	食事を楽しむことができるよう工夫をしているが、十分ではない。	
c	食事を楽しむことができる工夫をしていない。	
	<input type="checkbox"/> 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食器の材質や形などに配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆食育タイムには、季節の果物や野菜など様々な食材に触れ、五感を通して親しみをもてるようにしている。</p> <p>◆苦手な物を食べるのが負担にならないよう 食べたい量を自分で決めたり、量を少なめにしたりして、徐々に慣れるようにする。このことにより、自分で決めた『食べたい量』の給食を完食するようになった。</p> <p>◆クラス会議、給食会議等では様々な意見・提案を出し合い、職員間で共通理解を図ることに努めている。</p> <p>◆保護者対象の食育タイムを実施。(参加者が作って試食する体験型) 子どもの育ちに必要なおやつを提供について伝える。</p> <p>◆芋づるクッキングはじめクリスマスクッキー作りやオクラ・そら豆にふれる食の体験を実施。自分が調理過程で関わった食材を喜んで食べられた。</p> <p>◆年長児は自分たちで配膳する際、サンプルを見ながら盛り付けたり友だちを気遣いながらおかわりをよそったりしている。また落ち着いた空間での食事を日々楽しんでいる。</p> <p>◆3~5歳児の給食に係る手順書を作成。配膳時、盛り付け例の写真を見て自分が食べられる量を職員に伝えて盛り付けを依頼する方式に変更。</p> <p>◆給食支援サービスを利用。新しい献立による食材及び新たな味付けの給食を提供した。</p> <p>◆サイクルメニュー(繰り返し献立)方式により、子どもたちが食材や味付けに慣れるようにしている。</p> <p>◆給食提供前には使用している食材について、写真・ポスター・実物を子どもたちに見せて興味関心を引き出す工夫をしている。</p>		

【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。		
判断基準 a	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	
b	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供しているが、十分ではない。	
c	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供していない。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 季節感のある献立となるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の食文化や行事食などを取り入れている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆旬の食材を使用し、季節感のある薄味仕上げを基本に据える。地元産のわかめやひじきを使用した給食の提供。 ◆子どもたちが苦手なものでもおいしく食べられるような献立と調理の工夫を行っている。 ◆配膳時、あらかじめ示された盛り付け量の写真を指さして自分が食べる量を定める取組を実施 ◆一人ひとりの体調をはじめ苦手な物などを考慮し、個別対応を行っている。 ◆栄養士は子どもたちの発する言葉に耳を傾け、一人ひとりの声を食育にいかすよう努めている。 ◆栄養士は、毎月の身体測定値を発育曲線に落とし込み、からだの発育状況を把握するとともに必要な対応を行う。 ◆保育士は、担当する子どもたちの喫食状況を把握し、さらにチームで共有した上で細やかな対応に努めている。 ◆基本量を食べ終えた際、希望する子にはおかわりの提供を行っている。 ◆昼食時には 栄養士や調理員が保育室に入り、子ども一人ひとりの喫食状況を把握。また食育の課題等について 保育士と共有。 ◆衛生管理計画に基づき、安全に配慮した給食の提供を行っている。 ◆給食支援サービスを初利用。新たに学んだ切り方や調理方法などを自園の給食にもいかして 子どもたちがおいしく食べられる方法を検討している。 		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携		自己 評価結 果
【A17】	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	
判断基準 a	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	
b	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っているが、十分ではない。	
c	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っていない。	
	<input type="checkbox"/> 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭と保育園の情報交換は、連絡帳アプリや口頭でのやり取りによって行われている。 ◆送迎時には、保護者とのコミュニケーションを大切に、状況に応じて時間をかけて話をすることもある。 ◆クラス懇談会や個人面談、行事の開催などを通して保護者と相互理解を図るよう努めている。 ◆四半期ごとに『ほいくえんだより』を公開し、保育運営について説明している ◆全体会を通して、当年度及び次年度の保育及び運営内容を全世帯に周知できるようにしている。 ◆保護者の保育参加を実施。年間を通して希望の日時に参加することができ、保育士と一緒に保育を行う体験が好評である。 ◆保護者の発信した困りごとには できるだけ早い職員共有と早期対応に努める。 ◆ホームページでは、日々の保育の様子や給食などを写真と文章で伝えている。 ◆クラスだよりを発行（4回/年）し、クラスの様子を家庭に伝えている。 		

A-2-(2) 保護者等の支援		自己 評価結 果
【A18】	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	
判断基準 a	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	
b	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っているが、十分ではない。	
c	保護者が安心して子育てができるようになるための支援を行っていない。	
	<input type="checkbox"/> 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者等からの相談に応じる体制がある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 相談内容を適切に記録している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆保護者との信頼関係を築くために、全職員が できるだけ丁寧な対応を日々心がけている。朝夕の送迎時をはじめ連絡帳アプリ、個別面談、懇談会などでやり取りする他、ホームページやたよりを通して保育の様子を伝えている。</p> <p>◆家庭から相談を受けた際には、連絡帳アプリや口頭で保護者に寄り添うことを心がけている。</p> <p>◆個人面談を実施する際には、保護者の都合に合わせてるように調整している。また保護者が心を開いて保育士と向き合えるよう、話しやすい雰囲気を作るよう心がけている（面談場所など）</p> <p>◆相談内容によっては主任が保護者対応を行い、より良い解決に向けて家庭と園と一緒に考えるよう努める。</p> <p>◆個人面談の内容について 記録を残し、必要に応じて関係職員で共通理解を図っている。</p> <p>◆迎えが急きょ遅くなるような場合には、子どもが安心して保護者を待てるよう配慮している。</p> <p>◆保護者の都合により、急きょ土曜預かりを実施することもある。</p>		

【A19】	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	
判断基準 a	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	
b	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めているが、十分ではない。	
c	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めていない。	
	<input type="checkbox"/> 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 <input type="checkbox"/> 虐待等権利侵害の可能性があると感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 <input type="checkbox"/> 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 <input type="checkbox"/> 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<p>◆日頃から虐待等権利侵害となる兆候を見逃さないようすべての子に対して家庭での養育状況を把握しながら、親子の様子を注意深く見守るようにしている。 ※おむつ交換時、沐浴、シャワー浴の際、全身状態を確認。また、登降園時に親子の様子を観察。</p> <p>◆子どものなにげない一言を聞き逃さず、気になる場合には職員共有をして家庭の様子を注意深く観察する。</p> <p>◆虐待等権利侵害の早期発見・早期対応のためのマニュアル整備とこれに基づく組織的な取り組みを実施する。子どもの身体に傷やあざを発見した場合には、その理由を必ず確認。また保護者の様子がいつもと違う場合には、声かけをするなど虐待につながる可能性を視野に入れ、早期対応に努める。</p> <p>◆保護者支援の仕組みがある。(PCS:個別ケース支援)</p> <p>◆金沢区福祉保健センターこども家庭支援課との連携を図っている。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り (保育士等の自己評価)		自己評価結果
【A20】	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	
判断基準 a	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	
b	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めているが、十分ではない。	
c	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)に取り組んでいない。	
	<input type="checkbox"/> 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。	○
	<input type="checkbox"/> 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	○
【判断した理由・特記事項等】 abc評価の根拠となる取り組みや実践を具体的に記載		
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 保育士は、自らの目標を立て、自身の保育と子どもの育ちを毎月振り返って記録に残している。 ◆ 保育士個別の振り返りをもとに、クラスとしての振り返りを行い、次期実践の課題を明確にしている。 ◆ 週毎、月毎に保育計画を立案し、週末及び月末には必ず保育実践の振り返りを行って整理している。 ◆ 振り返りをもとに園長面談(報告)を行っている。 ◆ 目標管理シートにより自己評価を実施。 		

